



IIC の技術が切り拓く未来への期待



株式会社 IHI 代表取締役 副社長執行役員
航空・宇宙・防衛事業領域長

Sato Atsushi

佐藤 篤

IIC の皆さまには、日頃より航空・宇宙・防衛事業領域における数多くのプロジェクトにご協力いただき、心より感謝申し上げます。我々の事業領域が取り扱う航空エンジン、ロケットエンジン、防衛機器、宇宙機器などは、その作動環境が極めて過酷であるため、内部現象や発生事象を正確に把握すること、“見える化”することは困難を極めます。しかしながら、IIC が提供する高度な検査・計測技術はこれを解決する重要なソリューションの一つとなり、その技術力と柔軟な対応力が、我々の数々の課題解決に大きく貢献してきました。

一方、日本は戦後最も厳しい安全保障環境にあり、防衛力強化が急務とされています。同時に、環境負荷低減への取り組みは世界的な潮流として続いています。経済状況や技術的な障壁、社会的な受容性といった課題に直面しています。さらに、旺盛な航空需要が続く一方で、航空宇宙産業のサプライチェーンの逼迫ひっばくが続いており、航空機の供給不足が業界全体の

成長を阻む大きな要因となっています。トランプ関税に代表される米国の内向き・保護主義的な政策は継続する可能性があり、中国は経済圏拡大を目指すため、米中間の経済的・地政学的対立は長期化する見通しです。宇宙産業については、日本政府主導の政策による振興が図られている一方で、海外市場での競争力や民間需要の創出といった面で不透明さを抱えています。このように、我々を取り巻く環境はますます複雑化し、先を見通すことが困難になっています。

こうした難しい状況下ではありますが、インテリジェンスの収集に努めて社会のニーズを的確に見極め、新たな価値を創造して迅速にそのニーズに応え続けること、そしてそれにより将来にわたり成長し続けることが我々の重要な使命となっています。IICの技術は、防衛装備品の開発支援や次世代航空機の技術開発、非破壊検査技術を用いた複合材評価など、多くの分野で重要な役割を果たしてきました。さらに、民間航空エンジンのMRO (Maintenance, Repair, and Overhaul) 事業の拡充、新たなロケット推進系や宇宙機器などの開発、そして無人装備品や宇宙データ利用などの事業分野においても、IICの技術への期待は高まるばかりです。次世代に向けては、AIやデジタル技術を活用した計測・検査・制御技術の開発や、生産現場の効率化を図る自動化システムの導入など、事業基盤となる技術の強化・発展も不可欠です。IICが持つ知見にさらに磨きを掛けつつ、それをIHIグループ内外に広めることで業界全体の技術水準を向上させ、新たな事業の創出や事業基盤の強化、そして産業の発展に貢献していただけると信じています。

最後になりますが、IICの皆さまが、これからも引き続き心身ともに健康で、誇りを持って挑戦を続け、我々とともに新たな未来を切り拓いていくことを確信し、巻頭言の結びとさせていただきます。